

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	課題研究	2	2-4

1. 学習の到達目標

<p>①「色」とはどのようなもので、どのような歴史があるのか。心理学的にもデザインにおける色の関わりについて知る。そして、色をコーディネートすることが社会的にどういう意味を持つかについて理解し、衣食住全般と私たちが住み暮らす住空間をよりよくする実践力を育て、色彩検定3級取得を目指す。</p> <p>②キャリア教育の一環として、実習を通し、「理容・美容」に興味を持ち、進路選択の参考にする。</p>

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○慣用色名 ○色の表示 <ul style="list-style-type: none"> ・色の分類と三属性 ・PCCS ○色彩心理 <ul style="list-style-type: none"> ・色の心理的効果 ・色の視覚効果 ○色彩調和 <ul style="list-style-type: none"> ・配色の基本的な考え方 ・色相を手がかりにした配色 ・トーンを手がかりにした配色 ・色相とトーンを組み合わせた配色 ・配色の基本的な技法 <p>【夏休み課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ファッション ○インテリア 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用色名を知り、理解させる。 ・数多くある色を分類し、PCCS（色彩体系）を用い、色の三属性を理解し、イメージに合わせた配色を考えることができる。 ・色には心理的なはたらきがあり、その視覚効果、知覚効果を知る。 ・2色以上の色を効果的に組合せ、配色の根拠となる理論を学び、指定の配色カードを使い配色の調和を身につける。 ・ファッションと色彩について基本的なコーディネートを理解し、その色彩を施せる力をつける。 ・インテリア空間のそれぞれの特性を理解し、その特性にあった色彩を施せる力をつける。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・色相とトーンを組み合わせた配色 ・配色の基本的な技法 <ul style="list-style-type: none"> ○配色イメージ ○色のはたらき ○光と色 <ul style="list-style-type: none"> ・色はなぜ見えるのか ・眼のしくみ ・照明と色の見え方 ・混色 <p>色彩検定3級受験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配色に関係のある構成を取り上げ、どのように使用すればより効果的な表現になるか考える。 ・周辺環境への調和を十分に考慮したうえで、色をまとめる力を身につける。 ・色の組合せを調整して、美しく見せるカラーコーディネートを身につける。 ・見た目の美しさだけでなく、色には様々なはたらきがあることを知る。 ・色はなぜ見えるのか、光の性質と色、色を見る目の仕組み、網膜における光の処理を理解する。 ・混色とは何かについて理解させる。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩全般 配色演習 ○美容実習 ①②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩に関してより専門的な知識や技能を身につける。 ・「理容・美容」の職業とはどのような内容かを具体的に体験し興味を持たせる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	<p>考査、提出物、授業態度等による。</p>
------	-------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	<p>色彩について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。</p>	<p>色彩に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。</p>	<p>色彩について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。</p>	<p>色彩の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、色のもつ役割を理解している。</p>

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	
副教材	<p>色彩検定公式テキスト 3級編（色彩検定協会）・配色カード</p>